

みずほBNY米国バンクローンファンド

追加型投信 / 海外 / その他資産 (バンクローンファンド受益証券)

月次運用レポート
2012年5月

当資料は9枚ものです。P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。
なお、別紙1も併せてご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会： 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会

みずほBNY米国バンクローンファンド
追加型投信 / 海外 / その他資産 (バンクローンファンド受益証券)
 月次運用レポート (2012年5月)

商品の特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

投資信託証券への投資を通じ、実質的に米国企業向け貸付債権(バンクローン)や高格付資源国の公社債へ投資し、安定的なインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得をめざします。

USバンクローンファンド(米ドル建外国投資信託)およびDIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドへの投資を通じ、主に米国企業向け貸付債権(バンクローン)および比較的高金利の期待できる高格付資源国の公社債に実質的に投資し、安定的なインカムゲインの確保に加えてキャピタルゲインの獲得をめざします。

「USバンクローンファンド」の運用は、Alcentra New York LLC(米国)が行います。

実質組入外貨建資産への為替ヘッジは、原則として行いません。

毎月決算を行い、安定的な収益の分配を継続的に行うことをめざします。

毎月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として利子等収益の範囲内で分配を行います。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資対象とするファンド	USバンクローンファンド	DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド
実質的な主要投資対象	優先担保付米国バンクローン	高格付資源国の公社債
基準価額 の主な 変動 要因	金利変動リスク	一般に、固定金利の資産は金利の上昇により価格は下落します。組入れる公社債は原則として固定金利であるため、金利の上昇により価格は下落する傾向があります。その場合、基準価額の下落要因となる可能性があります。
	信用リスク	バンクローンの債務者が経営不安や倒産等に陥り利払いの遅延や元本の返済が滞る(デフォルト:債務不履行)場合、あるいはこうした状況に陥ると予想される場合、バンクローンの価格は大きく下落することがあり、基準価額の大幅な下落要因となることがあります。特に、バンクローンの格付が投資適格未満(BBB格相当未満)の場合は、投資適格(BBB格相当以上)のバンクローンと比べ、デフォルトの可能性は相対的に高くなります。デフォルトの場合には担保の回収により弁済されますが、担保の状況によっては投資元本に対して担保の価値が充分でない場合もあり、基準価額の大幅な下落要因となることがあります。
	流動性リスク	公社債は、バンクローンと比べ、一般に市場における売買量は多いため、市場実勢から期待される価格で売買が困難になる状況に陥る可能性は、相対的に低いと想定されます。
	為替リスク	外国為替相場が対円で下落する(円高となる)場合は、基準価額の下落要因となることがあります。

【その他の主な留意点】

- 当ファンドが有するUSバンクローンファンドを解約することができる時期は、月一回に限定されています。したがって、当ファンドにおいて大量の換金請求が一時期に発生した場合には、委託会社は、一定の期間、換金請求を受け付けない場合または既に受け付けた換金請求を取り消す場合があります。
- 資金動向・市場動向によっては、当販売用資料に記載された運用ができない場合があります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は9枚ものです。

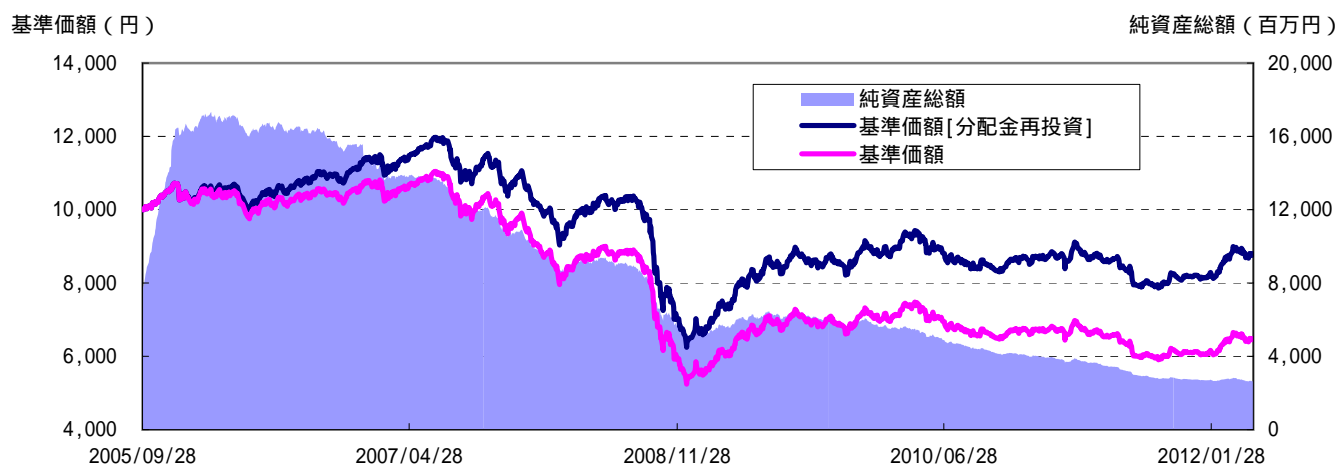
P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



みずほBNY米国バンクローンファンド
追加型投信 / 海外 / その他資産 (バンクローンファンド受益証券)
 月次運用レポート (2012年5月)

運用実績の推移

基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。
 $\text{基準価額[分配金再投資]} = \text{前日基準価額[分配金再投資]} \times (\text{当日基準価額} \div \text{前日基準価額})$
 (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。
 (設定日：2005年9月29日)
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	6,468 円
解約価額	6,449 円
純資産総額	2,630 百万円
設定日	2005年9月29日
決算日	原則毎月5日

ポートフォリオ構成

USバンクローンファンド	81.9%
DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド	16.5%
現金等	1.6%

比率は純資産総額に対する組入比率

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	3年 (2009/04/30)
当ファンド	-0.66%	7.80%	6.66%	-0.68%	-6.78%	9.24%

- 1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。
 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

当資料は9枚ものです。
 P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



みずほBNY米国バンクローンファンド
 追加型投信 / 海外 / その他資産 (バンクローンファンド受益証券)
 月次運用レポート (2012年5月)

分配金情報 (税引前)

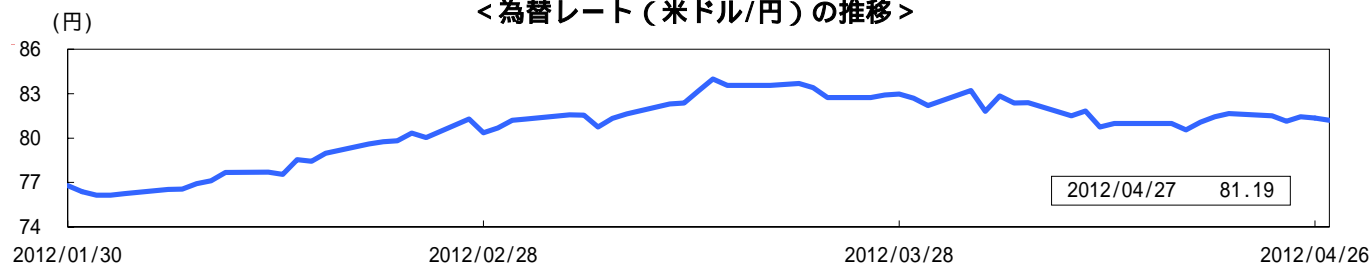
直近3年分

第41期 (2009.05.07)	20 円	第53期 (2010.05.06)	20 円	第65期 (2011.05.06)	20 円
第42期 (2009.06.05)	20 円	第54期 (2010.06.07)	20 円	第66期 (2011.06.06)	20 円
第43期 (2009.07.06)	20 円	第55期 (2010.07.05)	20 円	第67期 (2011.07.05)	20 円
第44期 (2009.08.05)	20 円	第56期 (2010.08.05)	20 円	第68期 (2011.08.05)	20 円
第45期 (2009.09.07)	20 円	第57期 (2010.09.06)	20 円	第69期 (2011.09.05)	20 円
第46期 (2009.10.05)	20 円	第58期 (2010.10.05)	20 円	第70期 (2011.10.05)	20 円
第47期 (2009.11.05)	20 円	第59期 (2010.11.05)	20 円	第71期 (2011.11.07)	20 円
第48期 (2009.12.07)	20 円	第60期 (2010.12.06)	20 円	第72期 (2011.12.05)	20 円
第49期 (2010.01.05)	20 円	第61期 (2011.01.05)	20 円	第73期 (2012.01.05)	20 円
第50期 (2010.02.05)	20 円	第62期 (2011.02.07)	20 円	第74期 (2012.02.06)	20 円
第51期 (2010.03.05)	20 円	第63期 (2011.03.07)	20 円	第75期 (2012.03.05)	20 円
第52期 (2010.04.05)	20 円	第64期 (2011.04.05)	20 円	第76期 (2012.04.05)	20 円
					累計分配金 2,525 円

- 1 分配金は1万口当たり
- 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

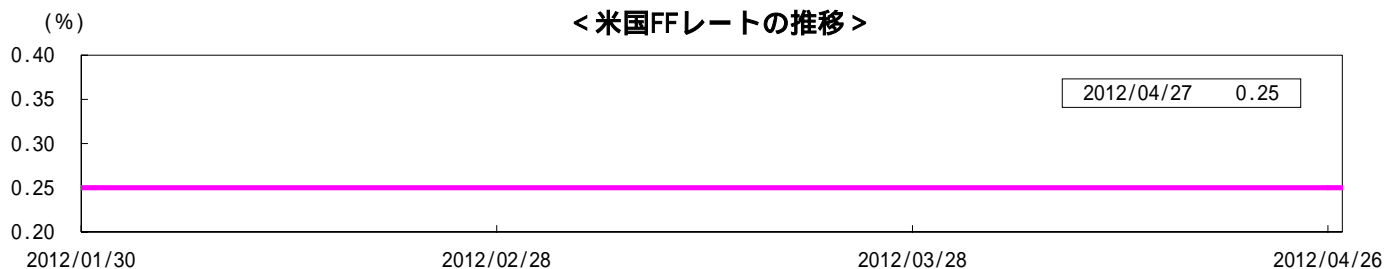
市況の推移 (直近3カ月)

<為替レート (米ドル/円) の推移>



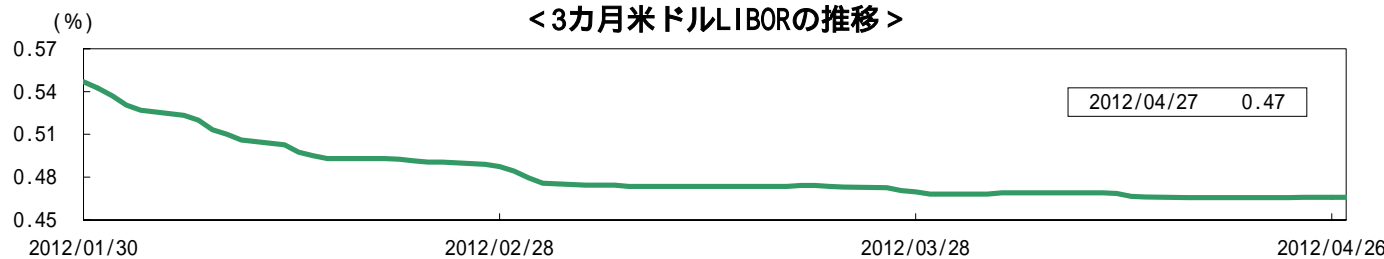
為替レートはTTM (東京外国為替市場の対顧客電信仲値) を使用しています。

<米国FFレートの推移>



(出所: Bloomberg)

<3カ月米ドルLIBORの推移>



LIBOR: London Inter-Bank Offered Rate (ロンドン市場における銀行間平均貸し手金利)

(出所: Bloomberg)

当資料は9枚ものです。
 P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

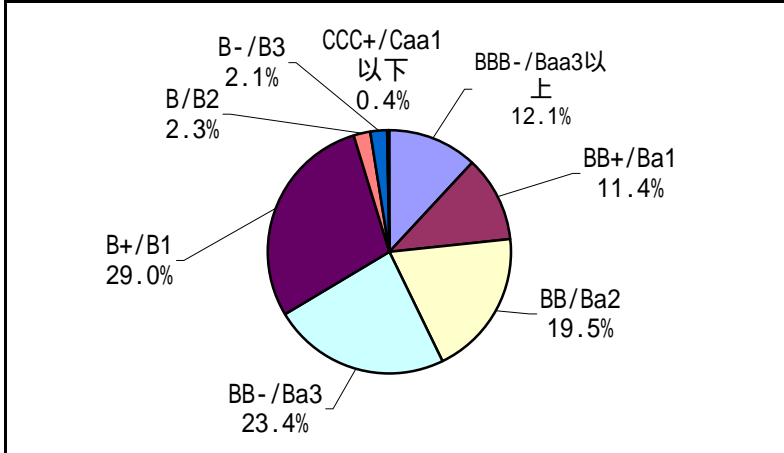


みずほBNY米国バンクローンファンド
追加型投信 / 海外 / その他資産 (バンクローンファンド受益証券)
月次運用レポート (2012年5月)

USバンクローンファンドの内容

USバンクローンファンドのマスターファンドの内容です。
(比率は組入れローンの時価総額に対する割合です。)

格付別組入比率



ポートフォリオの状況

平均スプレッド (*)	4.50%
-------------	-------

基準日現在の組入銘柄のスプレッドを時価ベースで加重平均したものの。

<ご参考>当月中の平均レート
1か月米ドルLIBOR：0.24%
2か月米ドルLIBOR：0.35%
3か月米ドルLIBOR：0.47%

- S&PまたはMoody'sのローン格付を採用しております。
- CCC+/Caa1以下には格付を取得していないものを含む場合があります。

組入上位10業種

	業種名	比率
1	ヘルスケア・医薬品	13.92%
2	ビジネス・サービス	8.91%
3	化学	8.74%
4	出版	7.63%
5	放送	6.92%
6	電気通信	6.30%
7	工業・製造業	5.88%
8	食品・飲料・タバコ	5.16%
9	各種金融	4.77%
10	包装・容器	4.46%

(組入銘柄数：105銘柄)

組入上位10銘柄

	銘柄名	業種名	比率	スプレッド	S & P	Moody's
1	CommScope Inc.	電気通信	1.76%	3.78%	BB	Ba3
2	Rockwood Specialties Group Inc.	化学	1.75%	3.03%	BBB-	Ba1
3	Fresenius SE	ヘルスケア・医薬品	1.74%	3.03%	BB+	Baa3
4	Nielsen Finance VNU	出版	1.72%	3.75%	BB+	Ba2
5	Energy Solutions	公益事業	1.68%	5.78%	BB+	Ba3
6	Capital Automotive REIT	不動産	1.64%	4.53%	B+	Ba3
7	1-800 Contacts	一般消費財	1.58%	7.23%	BB	Ba2
8	Clarke American	出版	1.57%	2.50%	B+	B1
9	CSC Holdings, Inc.	ケーブル	1.48%	1.75%	BBB-	Baa3
10	MSCI Inc	ビジネス・サービス	1.42%	2.75%	BBB	Ba1

- 格付はS&PおよびMoody'sのローン格付を表示しています。
- USバンクローンファンドおよび同ファンドのマスターファンドの運用を行うAlcentra New York LLC (米国)のデータに基づき、米国における月末営業日を基準に作成しています。

当資料は9枚ものです。
P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

みずほBNY米国バンクロンファンド
追加型投信 / 海外 / その他資産 (バンクロンファンド受益証券)
月次運用レポート (2012年5月)

D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンドの内容

比率はD I A M高格付インカム・オープン・マザーファンドの純資産総額に対する割合です

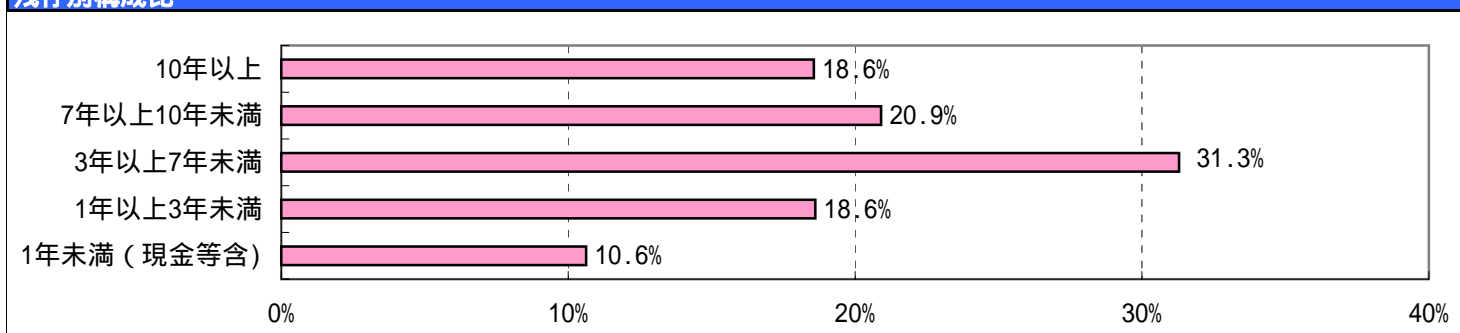
ポートフォリオの状況

平均複利回り	3.11%
平均クーポン	5.27%
平均残存期間	6.99
修正デュレーション	5.33

通貨別構成比

通貨名	組入比率
カナダ・ドル	44.23%
ノルウェー・クローネ	9.57%
オーストラリア・ドル	34.54%
ニュージーランド・ドル	9.81%
現金等	1.84%
合計	100.00%

残存別構成比



(組入銘柄数：142銘柄)

組入上位10銘柄

No	銘柄	セクター	クーポン	償還日	国名	通貨	格付	組入比率 (%)
1	カナダ住宅金融公社	社債	4.55%	2012/12/15	カナダ	カナダドル	AAA	3.47
2	ニューサウスウェールズ州債	政府機関債	6.00%	2019/04/01	オーストラリア	オーストラリアドル	AAA	2.79
3	カナダ国債	国債	8.00%	2027/06/01	カナダ	カナダドル	AAA	2.40
4	プリティッシュ・コロンビア州債	地方債	4.10%	2019/12/18	カナダ	カナダドル	AAA	2.11
5	クイーンズランド州債	政府機関債	6.25%	2019/06/14	オーストラリア	オーストラリアドル	AAA	2.01
6	ニュージーランド国債	国債	6.00%	2017/12/15	ニュージーランド	ニュージーランドドル	AAA	1.92
7	カナダ住宅金融公社	社債	3.55%	2013/09/15	カナダ	カナダドル	AAA	1.90
8	カナダ国債	国債	5.75%	2033/06/01	カナダ	カナダドル	AAA	1.88
9	プリティッシュ・コロンビア州債	地方債	3.25%	2021/12/18	カナダ	カナダドル	AAA	1.81
10	クイーンズランド州債	政府機関債	6.00%	2017/09/14	オーストラリア	オーストラリアドル	AAA	1.75

格付については、海外格付機関 (S&PおよびMoody's) による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表示方法にあわせて表記しています。

当資料は9枚ものです。

P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



みずほB N Y米国バンクローンファンド
追加型投信 / 海外 / その他資産 (バンクローンファンド受益証券)
 月次運用レポート (2012年5月)

4月のマーケット動向と当ファンドの動き

USバンクローンファンドの運用概況はマスターファンドの内容です。

(USバンクローンファンドの運用概況)

4月の米国バンクローン市場は+0.74%のリターンとなり、5ヶ月連続でプラスリターンを維持しました。

ローンに対する投資需要は引き続きしっかりとしています。主にローンを投資対象とする投資信託経由での投資資金は、4月は週平均で約2億ドルの流入超が継続し、またCLO(バンクローンを担保資産とする証券化商品)も月間で約60億ドルが新規に組成され、年初からの累計組成額は120億ドル超となっています。一方、4月の新規バンクローン発行額も300億ドル弱と活況を呈しており、一部の格付の低い新規ローンでは仮条件よりも投資家側に有利な方向に条件変更されて発行される事例も散見されています。

なお、欧州での重債務国の問題の影響が米国での企業向けローンの倒産確率にもあらわれ始めており、金額ベースでは3月末の0.21%から4月末には0.56%へと、社数ベースでは同じく0.61%から0.93%へと、引き続き水準自体は低いものの方向感としては上昇に転じました。

こうした相場環境の中、当ファンドの4月末の基準価額(ドルベース)は前月末比で+0.48%上昇しました。当ファンドでは、4月中に1銘柄の借換えに応じた他、4銘柄を売却する一方で新たに6銘柄を購入した結果、組入銘柄数は105と前月末より増加しました。組入れローンの平均スプレッドは4.50%に拡大し、また、BB-/Ba3格以上のローンの組入比率は66.3%へと低下しました。なお、上記の新規購入6銘柄の内、1銘柄がCCC+/Caa1格のローンであったため、CCC+/Caa1格以下のローン組入比率は0.4%となりました(以上、格付はS&P/Moody's)。

引き続き倒産確率が低水準にあるものの、今後も欧州各国の債務問題などの不透明な状況が長引くと予想されるため、慎重な姿勢を維持しつつ、新規バンクローンの組入れ・保有ローンの入れ替えを進めてまいります。

(DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドの運用概況)

債券市場では、多くの国・地域で利回りが低下(価格は上昇)しました。米国では雇用統計など多くの経済指標が市場予想を下回り、景気回復の鈍化が示唆されたことから利回りは低下しました。ユーロ圏では、フランス大統領選挙でEU(欧州連合)財政協定の再交渉を掲げる候補が優勢となるなど、政治の不透明感が債務危機への懸念を煽り、ドイツ国債の利回りは低下しました。当マザーファンドの組入国では、インフレ率が低下し利下げ期待が高まったオーストラリアを中心に全ての国で利回りが低下(価格は上昇)しました。

為替市場では、米国雇用統計が市場予想を下回ったことや、ユーロ圏の一部の国で政治情勢が不透明化したことを背景に、リスク回避的な動きが強まり、米ドルやユーロといった主要先進国通貨が円に対して下落しました。当マザーファンドの組入通貨では、全ての通貨が円に対して下落(円高・現地通貨安)しました。利上げ時期が早まるとの見方が広がったカナダドルも小幅ながら円に対して下落しました。

当月、当マザーファンドでは基本国別投資比率(カナダ45%、オーストラリア35%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%)に沿って運用しました。ポートフォリオの平均残存期間については前月末とほぼ同様の水準としました。

DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドの基準価額は、全ての組入通貨が円に対して下落(円高・現地通貨安)したことを主因に0.17%下落しました。

ユーロ圏で景気後退局面を迎える国が増加していますが、北米では着実に景気が改善しているほか、中国の景気減速も緩やかなものとなる公算が高まっています。多くの主要国が極めて緩和的な金融政策を継続する見込みであるため、世界景気の緩やかな拡大局面が続くものと見ています。世界の債券市場では、主要国での低金利政策を受けて、利回りは総じて低水準で推移することが予想されます。当マザーファンドの組入国では、景気サイクルに差異があるため、国によりまちまちの動きになると予想しています。為替市場では、低金利環境により商品市況がサポートされやすい環境であることに加え、財政など経済構造が良好な国が資金の投資先としての需要を集めているため、当マザーファンドの組入通貨が上昇しやすい環境であると見ています。ただし追加利下げが予想されるオーストラリアについては、短期的に通貨安となる可能性があると見ています。

当マザーファンドでの運用方針は、基本国別投資比率(カナダ45%、オーストラリア35%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%)に沿った比率を維持する予定です。ポートフォリオの平均残存期間については、現状とほぼ同様の水準を維持する予定です。

(みずほB N Y米国バンクローンファンドの運用概況)

4月のドル/円レートは円高ドル安が進行しました。月初に発表された米国の雇用統計が市場予想を下回ったことに加え、上旬の日銀の金融政策決定会合で金融緩和が見送られたことから主要通貨に対し円高となり、中旬には1ドル=80円台半ばまで下落しました。これに対し日銀の副総裁が月末の金融政策決定会合での緩和策の決定を示唆したため、その後一時1ドル=81円台後半まで上昇しましたが、27日の金融政策決定会合で決定された緩和策が市場の予想の範囲内だったことから、月末のドル/円レートは前月末比で1円ちょうど円高ドル安の1ドル=81円台前半で取引を終えました。

約20%の組入れとしているDIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドも、全ての組入通貨に対して円高となったことを主因に基準価額が下落し、当ファンドの4月末の基準価額は6,468円に下落しました。

なお、当ファンドは4月5日に第76期の決算日を迎え、前期までと同額の20円の分配を行いました。当該分配金を再投資したものとして計算しますと、当ファンドの基準価額は前月末比 0.66%でした。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は9枚ものです。

P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



みずほBNY米国バンクローンファンド
追加型投信 / 海外 / その他資産 (バンクローンファンド受益証券)
 月次運用レポート (2012年5月)

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して5営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはカナダの銀行の休業日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。上記に加えて、市場の著しい混乱等でバンクローン等の市場の流動性が極端に低下した場合、USバンクローンファンドに属する資産のデフォルト等により当該ファンドの換金の受付が中止された場合や決済機能が停止した場合には、換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。また、当ファンドが投資する2つのファンドのうちUSバンクローンファンドを解約することができる時期は月1回に限定されています。したがって、当ファンドにおいて大量の換金の請求(信託財産に属するDIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドの時価総額を超えることとなる換金の請求)が一時期に発生した場合には、委託会社は、一定の期間、換金の請求を受付けないことおよびすでに受付けた換金の請求を取り消すことができるものとします。
信託期間	無期限です。(設定日:2005年9月29日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 信託財産の純資産総額が50億円を下回ることとなった場合。 受益者のために有利であると認めるとき。 やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎月5日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回、毎決算日に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「一般コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 「自動けいぞく投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額等については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
 詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時	
購入時手数料	購入価額に2.625%(税抜2.5%)を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 くわしくは販売会社にお問い合わせください。
換金時	
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用(信託報酬)	実質的な信託報酬: 信託財産の純資産総額に対して年率上限1.3925%(税抜1.35%)(概算) を日々ご負担いただきます。 ・当ファンド:信託財産の純資産総額に対して年率0.8925%(税抜0.85%) ・投資対象とする投資信託証券:投資対象とする投資信託証券の純資産総額に対して年率上限0.5%(概算) 当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用・手数料	組入保有証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。)

当資料は9枚ものです。
 P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



みずほBNY米国バンクローンファンド
追加型投信 / 海外 / その他資産 (バンクローンファンド受益証券)
 月次運用レポート (2012年5月)

投資信託ご購入の注意

投資信託は、
 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
 お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
 当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
 当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
 当資料における内容は作成時点(2012年5月16日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
 当ファンドは、実質的に貸付債権(バンクローン)や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

ファンドの関係法人
 < 委託会社 > DIAMアセットマネジメント株式会社
 < 受託会社 > みずほ信託銀行株式会社
 < 販売会社 > 販売会社一覧をご覧ください

委託会社の照会先
 DIAMアセットマネジメント株式会社
 コールセンター 0120-506-860
 (受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)
 ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

販売会社 (お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

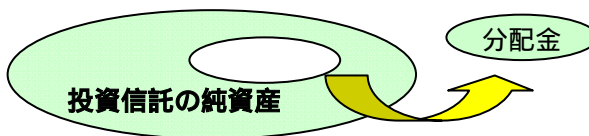
印は協会への加入を意味します。 2012年5月16日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
株式会社みずほ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第3号					
みずほ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第34号					

当資料は9枚ものです。

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

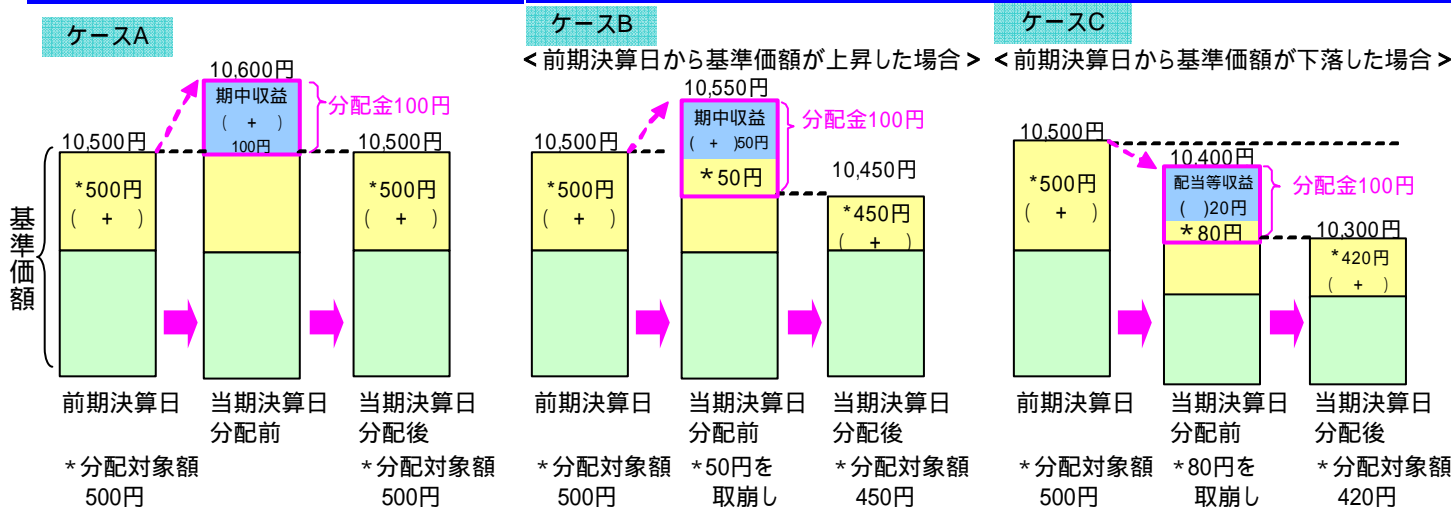
分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

配当等収益(経費控除後)、 有価証券売買益・評価益(経費控除後)、 分配準備積立金、 収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



上図のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

- ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円
- ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 50円 = 50円
- ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 200円 = 100円

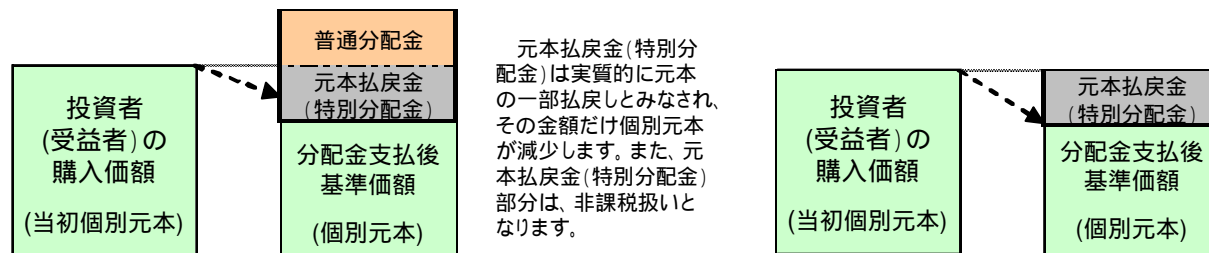
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)をご確認ください。